

次の質問に移ります。

現在策定中の第六次新居浜市長期総合計画中間見直しについてです。本計画は、令和3年度を初年度とし、目標年を令和12年度とする本市の最上位計画です。本年度は計画の中間年に当たり、後期計画の策定に向けて、見直しが進められています。見直しに当たっては、計画策定後の社会情勢の変化や新たに生じた本市の課題、さらには様々な行政分野における最新の取組を踏まえて、現状に即した実効性ある計画とすることが求められています。

今回の見直しでは、市役所内外の関係会議に加え、市民の声を幅広く取り入れられています。具体的には市内全校区でのタウンミーティング、市民意向調査、プチモニアンケート、市政モニターアンケート、高校生みらい会議、さらには生命保険会社協力による顧客アンケートなど、多様な意見収集が行われています。

古川市長就任後の見直しということで、本市が力を入れるべき施策に加え、早期に実現してほしい市長公約についても、市民の考えを伺っていると承知しています。

調査結果では、本市が力を入れるべき施策としては、子育て支援のさらなる充実が上位に挙げられています。また、早期に実現してほしい市長公約としては、近隣にはない文化施設機能を有したアリーナの建設が、全年代層を通して上位に位置しています。さらに、比較的若い世代からはみらいの学校づくり、中高年層からは住友グループ企業や国、県、民間企業との連携強化、スタートアップ企業への支援が上位に挙げられています。

まず、この調査結果につきまして、市長としてどのように受け止められておられるのか、御所見をお聞かせください。

そうして、これらの調査結果を踏まえ、人口減少や財政健全化といった本市の喫緊の課題に対応するため、計画の重点施策をどのように再構築されるのか。特に持続可能なまちづくりの観点から、どの分野に重点を置き、市民参加をどのように位置づけていかれるのか、お考えをお聞かせください。

市長もこの1年間、市民生活に直結する課題として、人口減少の進行と財政健全化の両立が大きなテーマであったと認識されていることと思います。

そこで、見直しの中で、まず人口減少対策について伺います。

若者や子育て世代の定着を図るため、雇用の創出や教育環境の充実など、どのような具体的施策を盛り込まれようとされているのか。また、具体的施策の検討に当たっては、財政健全化の方向性も考慮されていると存じます。補助金削減や歳出抑制など、厳しい選択を迫られている中で、これをどのように計画に反映し、令和8年度当初予算の編成に取り組まれるのか。人口減少対策と財政健全化、市民意向は、時に相反する面もありますが、両立を図るための戦略的なビジョンについて、御所見を伺います。

○議長（田窪秀道） 答弁を求めます。古川市長。

○市長（古川拓哉）（登壇） 第六次長期総合計画中間見直しについてお答えいたします。

まず、アンケート結果の受け止めについてでございます。

今回、第六次長期総合計画の見直しに当たり、約2,000人の市民の皆様にご協力いただき、アンケートを実施いたしました。高校生から高齢世代まで、幅広い層の貴重な御意見を伺うことができ、今後の施策に反映するための大変有意義な資料となりました。

意見が多かった項目については、市民の関心、要望の大きい項目と捉え、事業の充実等を検討し、少数意見についても庁内で情報共有し、早期に対応、改善できるものには取り組んでまいります。

また、これらは長期総合計画後期計画の参考資料として、掲載させていただくこととしております。

調査結果において、本市が力を入れるべき施策として、子育て支援のさらなる充実が上位に挙げられている点については、一層の充実を求める声が多いことを再認識いたしました。

また、早期に実現してほしい市長公約として、近隣にはない文化施設機能を有したアリーナの建設を求める意見が多かった点につきましては、市民の文化、スポーツに対する関心の高さの表れであり、多世代が多目的に利用できる施設の整備は、市の魅力向上、満足度向上に寄与すると感じております。

さらに、比較的若い世代はみらいの学校づくりが、中高年齢層からは住友グループ企業や国、県、民間企業との連携強化等の声が多かったことから、それぞれの世代が重視する施策として、必要性を認識いたしました。

次に、計画の重点施策についてでございます。

人口減少問題は本市最大の課題であり、今回の中間見直しにおいても、長期総合計画と一元化する総合戦略に掲げる施策に重点的に取り組んでまいります。

一方で、財政健全化への対応や事業の費用対効果等も総合的に判断し、施策の優先度を慎重に判断していく必要があると考えております。

市議会の皆様をはじめ、多様な市民、関係者の皆様の御意見を伺いながら、各種施策を推進してまいりたいと考えております。

次に、人口減少対策についての具体的な施策についてでございます。

後期計画においては、こども・子育て複合施設の整備や出産世帯への応援事業の実施、給食費の費用負担の軽減、多様な人材確保に関する支援、移住相談、支援の継続など、具体的な施策を記載する予定でございます。

次に、令和8年度の当初予算に向けた戦略的ビジョンについてでございます。見直し作業を進めております後期計画では、質の高い行政運営と健全財政の維持などを掲げる予定としております。令和8年度当初予算の編成に当たっては、限られた財源の中で予算を編成することとなりますが、これまで以上の歳入の確保と歳出の抑制に努めるとともに、賢く縮むという考え方を念頭に、市民満足度と財政健全化の両立を目指してまいります。

○議長（田窪秀道） 合田晋一郎議員。

○11番（合田晋一郎）（登壇）

ありがとうございました。具体的な施策を期待しております。

また、市長が所信で、この町が持つ未来を創造する力に、私自身や市民の皆様の思いを重ね合わせなが

ら、輝き続けることのできるまちづくりを目指すと表明されております。期待しております。